

子どもを真ん中に考える社会へ。

もっと知ってほしい。応援・支援してほしい。だから…
2019年、「認定NPO」取得を目指しています！

認定NPO
法人に
なると…

- 確定申告をすることで、寄付額の最大50%が戻ってきます。
- 情報公開が強化され、団体の透明性を高めることができます。

認定NPO
取得の
ために…

- 3,000円以上の寄付者（応援会員でもOK）が年平均100人以上いることが必要です。
- 2017年、2018年の2年間で判定期間。
2019年に認定申請（予定）し、取得を目指します。



NPO法人 子どもへのまなざし

【住所】〒191-0024 東京都日野市万願寺1-25-8

【TEL】050-3721-1973（月～木／10時～17時）

【E-mail】info@manazashi2009.sakura.ne.jp

【Web】http://www.manazashi2009.sakura.ne.jp/

fb <https://www.facebook.com/NPOmanazashi/>

年次報告書

manazashi annual report 2016

2016

NPO法人子どもへのまなざし





ひとりぼっちで
子育てしている気がする...

私が大切に
しているのは子ども？
それとも私の言っ値？



この4軒が好き...
だから、この4軒の人と
考えたい。



今、子どもたちは
「やってみたい！」を
やれていますか？



“ありのまま”と
“わがまま”の
ちがいは？



私たちが
生きている社会のことは
私たちが考えたい。



ついつい
正解を求めたくなる...
でも、
正解って、なに??



「ふっふ」って何だろう？
「ふっふ」が
一番大切な？

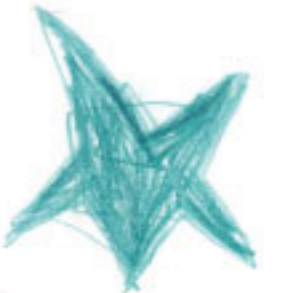


今を生きる子どもたちにとって本当に大切なこと...
あなたと一緒に考え続けたい。

家庭と学校・職場
以外に居場所が
ありますか？

そもそも子どもは
「生きる力」にあふれた
存在なはずなのに...

どんな人も皆、
昔は子どもだった。



『子どもは昔から、
あぶなく(A)、きたなく(K)
うるさい(U)存在だった。
変わったのは子どもではなく、
それを迷惑と受けとめる
大人や社会の意識の方だ。』



核家族だからいろんな世代
とつながって子育てしたい。

子育てって「親」だけ
がするものなの？

人に助けを
求めず、何でも一人で
できることが自立だと思っ
てた。



たくさんのあたたかい
まなざしの中で



やってみたら、
やってみる。

学校じゃない、家庭じゃない、
この場だから会える仲間。



いやいや、まだまだ子どもだった！
やりたいことを思いっきりやって、
ばかばかしいことを一生懸命やって、
ズッコケてみたり、
もっと「子ども時代」を過ごしてほしい。
大人になるのは
もう少し先でいいよ。

「自由」って、いろいろ。



ただ、ただ、あそぶ。



どんなことをやってるの?

2016 まなざしの事業一覧



子どもが主人公の居場所の設置・運営事業 「なかだの森であそぼう!」

子どもが主人公の居場所を創り続けよう!
豊かな子ども時代を過ごすためには
子どもたちが日常的に「やってみたいこと」
に挑戦できる場を私たち大人が
創り出す必要があります。

Information

開催場所: 仲田の森蚕糸公園
開催日時: 毎週金曜日、
毎月第2・3土曜日 10:00~17:00
参加費: 無料、どなたでもどうぞの遊び場です。
お昼に「なかだ鍋」を作って食べています。
一緒に食べたい方は、
おわん・おはし・主食・鍋の具材をお持ち下さい。
調味料代: 大人ひとり50円を頂いています。



▲詳しくは
「なかだの森ブログ」へ

P.7

親子で育ち合う保育の場の設置・運営事業 野外保育「まめのめ」

自然の中で仲間とことんあそぶ
親も子ども共に育つ保育の場
園舎を持たず、日野にある
森や川、丘を中心に、季節や天気
で日々変わっていく自然をまるごと
フィールドにして、
体験と感動を繰り返しています。

Information

開設日: 2009年4月1日~
対象年齢: 1歳児~就学前までの子どもたちが
共に過ごしています。
※1歳児の方は、相談しながら入園
を決めています。
定員の目安: 30人程度(1~2歳 7人程度/
3~5歳 23人程度)
保育時間: 月~金
9:00~15:00 又は 17:00お迎え



▲詳しくは
野外保育「まめのめ」
ウェブサイトへ

P.9

子ども時代のあそびを保障する場の設置・運営事業 「あそべ!子どもたち!」

子ども時代のあそびを
もっと自由に!もっと豊かに!
活動を通して、子どもたちの
「やってみたい!」を保障することの
大切さを実感しています。

Information

2016年度実績
年少・年中児対象: 川であそぼう!ちびっこ団
年長~小学3年生対象: 川であそぼう!がきんちよ団
冬をあそぼう!がきんちよ団
小学3年生以上対象: 飛び出せ!冒険隊!ビギナー
山へ飛び出せ!!たんけん隊!
小学4年生以上対象: 飛び出せ!冒険隊!マスター
(ビギナー経験者のみ)



▲詳しくは
「あそべ!子どもたち!」
ウェブサイトへ

P.11

子どもの育ちを社会で支える 学習会の開催及び講師派遣事業

子どもの育ちには、親だけでなく、多くの
おとなの存在が必要です。人との関係が
希薄な時代だからこそ、共に学び、考える
人を増やしていきます。

Information

2016年度実績
まなざし講演会: 2016年5月21日開催
柴田愛子さん講演会
大人の川遊び: 2016年7月30日開催
講師派遣: 日野市中央公民館主催講座
「私の子育て、これでいいの?」



▲詳しくは
「子どもの育ちを社会で
支える」ウェブサイトへ

P.13

子どもがいるからつながる「人の輪」事業

子どものありのままを受け止めるには、
大人である私たちも、「わたしはわたし
のままでいい」と受け止め合える関係が
必要です。子どもを通してつながる「人
の輪」の中で“ひとりではできないけれ
ど仲間とならば生み出せる”その一歩を
踏み出すことにチャレンジしています。

Information

2016年度実績
父親学級: 「家族力がアップする!お産とオッサンの父親学級」
vol.7 2016年6月5日開催 / vol.8 2016年12月4日開催
(毎年6・12月に開催)
まなざし観劇会: 2016年12月11日開催
「音楽のびっくり箱~音楽はむずかしくな~い!~」



▲詳しくは
「父親学級」ブログへ



▲詳しくは
「観劇」ブログへ

P.15

同じ目的をもつ個人や他団体との協働事業 P.17

子どもが育つ環境づくりを社会全体
で取り組むためには、互いの違いを
認め合い、支え合う関係が必要です。
「子どもたちにとって大切なことを第
一に考える社会」を実現するために、
同じ目的を持つ他団体や個人と協働
します。

なかだの森蚕糸公園等清掃管理事業 P.17

団体設立当初より、自分たちの居場
所は自分たちの手で整備しようと除
草や清掃を自主的に行っていたこと
から、平成25年4月より「仲田の森蚕
糸公園」の公園清掃等作業に関して
日野市より業務委託を受けています。

情報発信事業 P.17

一人でも多くの方と「子どもにとって
本当に大切なこと」を考えたい。
「子どもにとって本当に大切なこと」、
あなたと一緒に考え続けたい。

まなざしの“今”を毎月お届けしています!
毎月第1木曜日にお送りしている、当団体のメルマ
ガ「今月のまなざし」。
活動を応援して下さる皆さんに、その月の情報や
活動に対する想いをお送りしています。
その月ごとのまなざしの情報が合わせて確認でき
るだけでなく、メルマガだけの記事もあります。
お知り合い、お友だちへの転送も大歓迎です!



▲メルマガ登録へ

子どもが主人公の居場所の設置・運営事業 なかだの森であそぼう!



子どもが主人公の居場所を創り続けよう!

子どもにとって『あそび』は生きることそのもの!
子どもたちが「やってみよう!」と思うこと全てが「あそび」です。
挑戦なので、失敗はつきもの。“危なっかしい”“汚い”“うるさい”と大人の都合であそびを制限してしまうと子どもが自ら育とうとする力を奪ってしまうことになるのです。
「あそび」の中で子ども同士のケンカや失敗が大切だと思っても、「迷惑をかけないように」と周りの目を気にして、子どもに口うるさく言わなくてはならない…そんなヘトヘトな毎日を送っているお母さんにたくさん出会ってきました。子育ては一人ではできません。子どもも、そして、親だって沢山のあたたかいまなざしの中で育ち合うことが、今、とても大切だと考えています。

2016年度の森は…

- 毎年、1日でも多く開催することを目指しています。
2016年度は年間66回の開催。2015年度より1日多く開催しました。
- 大きい人だけの特別な時間— 19時までの時間延長
幼児や低学年とは質が異なる居場所を必要としている高学年の子どもたちにとっても『居場所』となっていくためには、一人ひとりが受け入れられているという実感を持てるのが大切だと考えています。
- 土曜森を月2回へ
金曜日に、「また明日ね!」と別れることができること、小学生が朝からあそべる日が増えたこと…「つながりの豊かさ」を実感しています。

森の常連さんの声

お散歩コースで偶然声をかけてもらい参加したのがきっかけ。緑の中を歩く気分転換にはなるけど、子どもと二人きりが多くと煮詰まることも…。いまは「なかだの森であそぼう!」や、同じ場所で活動している「はだかんぼう」にも参加。森に行けば、くだらない話で笑ったり、時には深い話をする仲間がいる。森は、私にとって必要で、ずっと続いてほしい居場所だと感じています。



あやこ
2才(男の子)、
9月第2子出産予定の母

元々たくましいと思っていた我が子だけど、小学校に上がったころから繊細さが際立つようになった。一人っ子で、よその子との距離に悩む日も多かったが、森に来るようになって自分よりさらにたくましい子たちの存在に圧倒され、ぶつかりながらも自分の存在感を身体中で感じているような…ちょこっと厚くなってきた手足の皮膚や、そばかすのほっぺ。森にてたまらなく素敵に成長中の我が子です。



まりちゃん
小3(女の子)の母

初めて森に来た時「何てお呼びしたら?」と声をかけられてびっくり。「〇〇ちゃんのお父さん」と呼ばれることはあっても名前では呼ばれることなどなかったので(笑)今は、子どもの付き合いではなく、僕が遊びに行く感じで森に通っています。よその家、うちの家、親同士の話…そんな話が行き交うのも、森。つながりの強さ、みんなで見られる安心感がここにはあります。



つのおち
8才(女の子)、
4才(男の子)の父

森スタート!自分のペースで…

10

早く来てくれた人と、森の準備!

11

11:30過ぎ
腹ペコになってきた頃の
「お鍋できましたー!」
コール

恒例 なかだ鍋

「たべる」と「あそび」が
焚き火でつながる。

土曜日は、小学生も朝からあそぶ。

11

あべたら、またあそぶ。

大人も子どもも真剣にあそぶ。

12

雨の日は雨の日の「あそび」がある!

13

14

15

16

17

18

19

また明日な—!

スタッフ会議。日々、振り返り。

manazashi annual report 2016 08

親子で育ち合う保育の場の設置・運営事業
野外保育「まめのめ」



子どもの「今」とともに歩む

小学校に行っても困らないように、何かができるようにと将来の準備をして過ごす幼児期ではなく、やりたいことを夢中でできる、今しかない「子どもの時間」をたっぷり過ごす場を創ります。

子どもを信じて受け入れる

子どもが本来持っている育つ力を信じて、子ども自身が存在をまるごと受け入れられたと感じることのできる、子どもが主人公の居場所です。

親も子ども育ちあう関係づくり

子育て真っ最中の人たちが、共に育ち合える場を自分たちの手で創りたい!とスタートした野外保育「まめのめ」。子どもだけでなく、親同士も、助け合えたり違う意見を聞き合える関係づくりを大切にしています。

2016年度のまめのめは…

- 日々、フィールドの開拓ー「自由にあそぶ」ことの難しさを感じながら。
- 知ってもらふことを大切にー母たちの想いや活動もブログで発信しました。

まめ母の声

私がまめのめに会ったのは6年前。当時、私は自分にとても厳しく、子育ても間違っただけはいけない!と思っていました。でも、それですごく難しく苦しい。難しいね、苦しくなっちゃうねって母同士で言い合えた6年。相変わらず正しい母を目指して苦しくなることもあるけれど、大丈夫、って誰かが肩をポンと叩いてくれる。まめのめはそんな居場所になっています。



ちとみ
4児の母
・卒園児 小5(女の子)
・在園児 年長・年少(男の子)
・0才(女の子)

都会育ちの私では教えられるはずもない、自然でんこ盛りの体験やぶつかりながらも心底笑い転げ深く仲間とつながっていく宝物のような毎日。自分は何が好きで、どう動きたいのかを大切にされ過ぎている。とことん、めいっばい遊んでほしい。今しか味わえないことは存分に今やってみてほしい。それを全力で支えてくれる場所が「まめのめ」。心から、今日もまめのめをありがとう。



ゆーちん
2児の母
・卒園児 小3(女の子)
・在園児 年中(男の子)

働きながら市外からまめのめに通うのがしんどい時もありました。でも、いろいろな場所につながった「まめのめ」に関わる人々に手を借りたり力をもらったりしながら私も息子もたっぷり遊び大切な仲間を得た、実り多き日々でした。この温かな実りの種を地元にも蒔いていきたいな。ドキドキするけれど動いてみるつもりです。



ふみか
卒園児 小1(男の子)の母

スタッフも育ち、育てられて

スタッフが子ども一人ひとりを丸ごと受け入れスタッフも親たちからありのままを受け入れられる忘れられがちな視点けど子どもだけでなく、スタッフも幸せであることが欠かせない決して高いお給料ではないけれどこの温かい人の輪に包まれることが、今貴重なのだと思う

それは、親だって子どもを真ん中につなげた大人の輪の中で育ちあう失敗しても大丈夫!むしろ失敗できる「居場所」でありたい支援する側とされる側の関係でなく共に考え、学びあい、育ちあう人の輪づくり

今年度も、決して「楽」じゃないけど「楽しんで」まいりましょう!
(まめのめブログ/代表hiromin「居場所でありたい」より)



「居場所でありたい」全文は…



風はいずこ…

凧くんは雲ひとつない青空に吸い込まれていったのです…。あー大人なのにやっちゃった。弁償か…。とほとぼりみんなの方へ向かうとみーんなで空を見上げ凧を見つけようとしていました。

「あいちゃん、すごいね!今まで見た中で、一番高い!」と、たもつ「あの凧は戻ってくるかな、来ないかな、アメリカに行っちゃうかな」と、Hくん追いかける姿が面白かったらしく、なんやかんやと盛り上がりつつあるまめのめを見て、責められなかったことにホッとすわたり。責める人なんか居ないのは分かっていたのですが…

それでも、どこか、「大人なのに…」という気持ちが抜けきれずにいた次の日の朝一番の会話。Rくん(6才)「あいちゃんの凧、飛んじゃったんだよね!」とここにこあい「うん、そうね。ははは…(から笑い)」ゆきんこ「でも仕方ないよね!去年も飛んじゃったし〜」とゆきんこらしい明るいフォローRくん「うん。仕方ないね。」とRくんらしい優しい一言

その一言とニコニコの笑顔が嬉しくて。笑いに変わってくれるスタッフがありがたくて。

ああ、救われた。年末年始、家で良いオヨメさんを演じていた私はすっかりヘマをすることが恐ろしくなっていました。

「大人だから失敗しない」「失敗する自分は大めなのだ」そんな風に自分を律して、周りに責められることを恐れていたの間に息がつかなくなって疲れていました。ああ、「まめのめ」に来て深呼吸ができた。ありがたや。ありがたや。へましても、間違えても、まめのめは信じてもらえる場所なんだなあ。この気持ち、おすそ分けしたくなりました。口ベタな私は、ブログという形でおすそ分け。

深呼吸できる場所が子ども達にたくさんありますように。関わる大人達にもたくさんありますように。
(まめのめブログ/スタッフあいちゃん「風はいずこ…」より)



「風はいずこ…」全文は…



まめのめ総会2017

総会に向けて事前説明会があり、みんなから出た意見や想い、それぞれの事情に心を寄せつつ、今年の総会で保育料が決定しました。予算はまだマイナス94万円です。この数字をどう受けとめ、考え、これから行動していくか。かといって数字だけに踊らされず、なぜ自分たちがこの場に居るのかなど大切な想いを真ん中に今年も一丸となって進んでいこう。

苦手な数字やお金の話に、毎年この時期が重い。そんな意見も出たりします。だけど、私はこの時間決して嫌いではありません。

自分の考えとは違う考えを持つ人と決して話しやすくはないお金の話をし決定していく作業は確かに楽ではありません。だけど、この保育の場を作る一員として、現実的な数字と向き合う時間を持つことは、自分たちでこの場をどう考えどうしていきたいかということを考えさせられるからです。もちろんそれぞれの得手不得手、興味や関心も違うので、前出のような意見を否定する訳ではありません。

でもそんな色んな人がいて、それでも集まって話し、考えていく、それもまた面白いと思うのです。
(まめのめブログ/卒園児母めぐ「まめのめ総会2017」より)



「まめのめ総会2017」全文は…



子ども時代のおそびを保障する場の設置・運営事業
あそべ!子どもたち!



子ども時代の「あそび」をもっと豊かに!もっと自由に!

子ども時代の「あそび」を保障するための取り組み「あそべ!子どもたち!事業」。今、子どもの体験不足が叫ばれています。どんなに沢山の自然があっても、とことんじっくり遊ぶ時間、一緒にあそぶ仲間がいなければ、豊かな「子どもの時間」にはなりません。私たちは、山や川であそぶことを特別な体験ではなく、「日常的なあそび」の一つとすることを目指しています。

出会った子どもたちと共に…

活動を通して、子どもたちの「やってみたい!」を保障することの大切さを実感しています。プログラムをがっちり決めてそれに子どもたちを当てはめるのではなく、活動で出会った子どもたちに合わせ、企画も柔軟に変化させながら活動を続けています。

ずっとつながっていきける場に。

	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6
夏	川であそぼう!ちびっ子団		川であそぼう!がきんちょ団			飛び出せ!冒険隊ビギナー		
	川であそぼう!ちびっ子団		川であそぼう!がきんちょ団			飛び出せ!冒険隊マスター		
秋・冬	川であそぼう!ちびっ子団		冬をあそぼう!がきんちょ団			山へ飛び出せ!たんけん隊		
	川であそぼう!ちびっ子団		冬をあそぼう!がきんちょ団			山へ飛び出せ!たんけん隊		
日野市内の多摩川・浅川 <現地集合・現地解散> 【ちびっ子団】			・日野市内の多摩川・浅川【川がき】 ・夕やけ小やけふれあいの里【川がき】 ・日野市内【百草・南平など】【冬がき】			・裏高尾 日影沢キャンプ場【飛び出せビギナー】 ・日の出町【飛び出せマスター】 ・上野原の八重山/裏高尾の景信山/石老山/大地沢 【山へ飛び出せ!】		

2016年度の「あそべ!子どもたち!」は…

- 「(旧)冬のがっこう」が「冬をあそぼう!がきんちょ団」として復活!
- 飛び出せ!冒険隊をビギナーとマスターに分けて開催

活動を通して大人が感じる子どもの『あそび』

長女が小学生になって初めての夏休みは、「川であそぼう!がきんちょ団」で始まった。水あそびは大好きだけど顔に水がかかるのは大嫌い。臆病な娘が、川あそびなんて大丈夫だろうか、という不安も少しあったけれど仲間と一緒に、きっと川に飛び込むぐらいたくましく遊んでくれるだろうという期待があった。

無意識に感じていたそんな想いに気付いたのは事前説明会でのひろみさんの言葉だった。「飛び込みなんてなくてもいいんです楽しく過ごしてもらえればいいんです」という言葉に、ハッとさせられたのだ。

ああ、そうか、どんな遊びをするかではなく本人が楽しく過ごせばそれでいいんだ。どうして、そんな当たり前のことを忘れて子どもに思いっきり遊んでほしい、なんて言えたのだろう。

私には『子ども=わんぱく』というイメージがどこかにあって、無意識のうちに娘にもこうあってほしいと想いを押し付けていたことに気付かされたのだった。なんだか気持ちが少しスッキリして、川がき当日の朝は心から「楽しんでおいでね!」と送り出すことができた。

なかだの森に帰ってきた時の娘の笑顔は今でも忘れられない。キラキラとした笑顔を目撃してああ、楽しかったんだと泣けるぐらい嬉しかった。本当にいい顔をしていた。楽しかったんだね、スタッフと仲間と時間を気にせず、親の目も気にせずクタクタに疲れるまで思いっきり遊んできたんだね。今を生きてるなあ、「あそぶ」ってこんなにも子どもを笑顔にしてくれるんだ。(けいちゃん/川がき参加者母)



2016年最後のプログラム
『冬をあそぼう!がきんちょ団』の出来事です。

その日遊ぶ場所に着いてみると「え、ここ?ここで何をやるの?何もないじゃん。」そんなAちゃんの一言に瞬間固まってしまった私。あんまり乗り気でない様子を感じながらも探検に行ってみることに。すると、子どもがすっぽり入れるほど根元に大きな空洞のある木を発見。

「うわっっ!!なんだこれ——!!」「うわああ~ Aちゃんが入れそうなくらい大きいね!」あつきた!と心の中で思いながらニヤニヤしてしまうのを隠して、探検を続行すると、少し奥の方から、楽しそうな笑い声が聞こえてきました。

その場に行ってみると、5、6人の子どもたちが落ち葉を集めて、落ち葉のベッドを作って寝てみたり、埋もれてみたり、すごく楽しそうに遊んでいました。

みんなで落ち葉を集めて、みんなで輪になって落ち葉の大きな塊を持ち上げて、「せーのっ!」で空に向かって思いっきり手を放す。一瞬、落ち葉のドームに入って、落ち葉のシャワーを浴びながら、ひらひらと舞う落ち葉を見ることが楽しくて仕方ない。

だから何度も何度も繰り返す。楽しそうな声を聞いて、子どもたちもどんどん集まってくる。プログラムが決まっていなくて、だから子どもたちが自由にやりたいことをとことんできる。その中にたくさんの発見があって、充実感がある。

私も、子どもと遊ぶことで見える景色がたくさんあります。初めて気づくことがたくさんあります。「ただただ遊ぶ」それだけのはずなのに、子どもたちはいつも、私に楽しいこと、面白いことを教えてくれます。(みほこちゃん/冬ガキスタッフ)



子どもの育ちを社会で支える 学習会の開催及び講師派遣事業



「子どもにとって本当に大切なこと」を考え続ける大人を増やしたい。

日本初のプレーリーダー天野秀昭さんは、『子どもは昔から、あぶなく(A)、きたなく(K)、うるさい(U)存在だった。変わったのは子どもではなく、それを「迷惑」と受け止める大人や社会の意識の方だ。』とおっしゃっています。今、子どもたちは自由に生きているのでしょうか。自分が主役の人生を生きているという実感を持っているのでしょうか。私たちは、こんな時代だからこそ、「子どもにとって本当に大切なこと」は何なのかを考え続ける大人の輪を広げていく必要があると感じています。

講演会

柴田愛子さん講演会『お母さん、それは悩むことではありません。』

【継続事業】年1回開催



子育て真っ最中だからこそ学びたい、 全ての子どもの育ちに関わる人と学びたい…

「子どもにとって本当に大切なこと」を子育て中の人、子どもの育ちに関わる人、すべての人と学びたい、と毎年、無料の親育ち講演会の開催を重ねています。

2016年度の講演会は…

お母さん、それは悩むことではありません。

2016年度は柴田愛子さんによる講演会「お母さん、それは悩むことではありません。」を開催しました。4年ぶりの愛子さんのお話は以前と変わらず力強くユーモアに溢れ、勇気づけられた人もたくさんいました。講演会後も、一人ひとりと丁寧に言葉を交わし、夕方まで森に居て下さった姿が印象的でした。

正しく生きるより、楽しく生きる！

今回の愛子さんのお話は、子育ての話でありながら「自分がどう生きるか」ということが大きなテーマだったと思いました。『正しく生きるより、楽しく生きる。』『ありのままに生きる。』『一つ好きな事があれば、生きていける。』『だって、好きなんだもん』が大事』参加者の皆さんから頂いた感想でも、まずは自分自身を受け入れたい、私の「好きなこと」を大事にしたい、など自分自身にフォーカスする声が多く聞かれました。まずは、私たち大人が自分自身を大切に、豊かに生きていきたい、と思える大切な時間となりました。(ユキコ)

自分の人生
自分が主役
子どもの人生
子どもが主役
2016.5.21
柴田愛子

大人の川あそび

【継続事業】年1回/7月末開催

あなたは川であそんだ経験がありますか？

私たちの住んでいる日野市は「緑と清流のまち」と謳われているように、多摩川と浅川が流れ、用水路も数多く残されています。少し前は多摩川もかなり汚れてしまった時期があったようです。今は清流と呼べないまでも、鮎が遡上するまでになっています。この企画では、川あそびの名人 たもつやすスケと一緒に、多摩川・浅川それぞれのとっておきの川あそびポイントで、大人自身が子どもの頃に戻って思いっきり遊びます。

子どもの「やってみたい！」を応援する 大人を増やすために…

子どもを「遊ばせる」前に、大人の私たちが川で何を感じ、何を発見するかを大切にしながら過ごします。遊び終わった後には、参加者同士で遊んでみて感じたことをシェアする時間をもちます。2016年度は、「多摩川のすぐそばに住んでいるけれど、川に入っはいけない」と思っていた。この川で遊んではいけない!という風潮がもたない、強制的に遊ばされるのではなく、自ら進んで遊ぶことが大事だと改めて思いました。川って楽しい!川の生き物がスゴイ!などの意見を頂きました。



講師派遣

【新規事業】



「子どもの育ち」を社会全体で考える種を蒔くために…

2013年、宮城県栗原市から当団体の活動紹介をして欲しいという依頼があり、中川(代表)が講演をいたしました。そこで、その地域ならではの課題を目の当たりにし、「子どもたちが思いっきりあそぶ場をつくりたい」という熱い思いを持つ大人たちが、これからの地域社会をつくっていくのだと実感しました。子どもの居場所をつくるには、主体的に関わる大人の存在が必要です。ひとりでも多くの大人が「子どもの育ち」を社会全体で支えることについて考える種をまくために、ご依頼先のフィールドに出向き、当団体の活動やそこに込めた思いをお伝えしています。

2016年度の講師派遣は…

私の子育て、これでいいの? ～あなたが子育てで大切にしたいことはなんですか?～

日野市中央公民館から依頼を受け、子育て真っ最中の方への講座「私の子育て、これでいいの?～あなたが子育てで大切にしたいことはなんですか?～」を開催し、ファシリテーターを中川と藤浪(事務局)が担当しました。この講座は一方向的に知識を伝えるのではなく、参加者自身がテーマを決めて、進行役であるファシリテーターと共に子育てや自分自身について見つめ直す講座です。子育ては一人ではできないということ、そして、子育て中に出会った仲間は、その後の人生で大きな支えとなり、地域の中でのつながりをつくる土台となることを確信する時間となりました。

講師を依頼してみよう

一人で頑張らなくてもいいんだよ!
お母さんに伝えられる講座になりました。

子育て中は悩みが付きものですが、それを相談する人がいないため、頑張り過ぎたり、自分は母親としてダメなんじゃないかと落ち込んだりして、ストレスを溜めてしまう。そんなお母さんの心を軽くして一人で頑張らなくてもいいんだよ!と思える講座になりました。同じくらいの子育て中のお母さん同士の出会いがあり、それぞれの悩みを打ち明けることができたと思います。また、子どもと離れて自分のことを考える時間が持てたことは有意義だったと思います。



日野市中央公民館講座担当 谷 真美さん

子どもがいるからつながる「人の輪」事業



この街で子育てしたい!だからこそ「人の輪」を考える。

子どものありのままを受け止めるには、大人である私たちも、子どもと過ごす日々の中で感じることを誰かと語り、「わたしはわたしのままでいい」と受け止め合える関係が必要です。子どもを通してつながる「人の輪」の中でくつろぎ、サービスの受け手としてではなく、「ひとりではできないけれど仲間とならば生み出せる」その一歩を踏み出すことにチャレンジしています。

2016年度の「人の輪」は…

■ 気付きの「人の輪」～父親学級

誰かのコトバが私の気づきになる、夫婦参加型「父親学級」。夫婦間パートナーシップを深めるとともに、同じ子育て中の人と出会うことができるのも、この講座の魅力です。

■ より深める「人の輪」～観劇会

いつもの仲間と、わたしの住む街で見る観劇会。仲間と観るから、「おもしろかったね!」を共有できる瞬間があります。

地域で「人の輪」を創る仲間

「あそこに行けば、誰かいる。」

私は「子どもへのまなざし」で出逢った人たちのあたたかいまなざしの中で子育てしてきました。長男が小学生になり、子どもが自分の足で行ける場所に、人と集いながらのびのびとあそべる居場所を創りたい!という想いが強くなり、3年間近く、地元の百草で「百草子ども村」の活動を続けています。この活動を始めて、人の輪の広がりを感じています。今では、百草子ども村の活動を応援してくれる人がたくさんいます。移動児童館を通じて知り合ったTちゃん。全く知らない人だったTちゃんは今、活動を共に楽しむ同志です。この活動を始めたから、出会えた人だと思えます。活動場所に麦茶やパイナップル、お菓子を持ってきてくれるおじさん。子どもたちのために何かしたい、この場に一緒にいたい、という気持ちが伝わってきます。ロープやペーゴマなど、道具を置かせてくれるお母さん。近所の大学の学生さん。百草子ども村のチラシを作ってくれるお母さん。復職したけど、活動を応援してくれている仲間。そして、百草子ども村を居場所にしてきているみんな。この前は犬の散歩をしている近所の方たちに「今日はやらない?」と声をかけられ、知ってくれているんだと嬉しくなりました。遊びに来た子がまた友だちを連れて来て、子どもの輪も広がっています。子育てをしながら毎週開催していると、大変だなと思うこともあるけれど、行くと必ず面白い出逢いがあります。そして、何より私自身が、人とつながりをあたたかく感じ、「あそこに行けば誰かいる」という安心感があります。子どもを通して自然と集まる人の輪が、じわじわじわじわ広がっていくと嬉しいです。

ともちゃん (正会員/小5、小3、5才の母)
▲ともちゃんの「子どもへのまなざしは?」p21に掲載!

百草子ども村「人と集いながら、外でのびのび遊ぼう!」
■ 鬼ごっこ、大縄、ゴム段、ペーゴマ、スラックラインなど
■ 小さい人から年配の方まで どなたでもどうぞ
■ 毎週水曜日 15時半～日没まで
■ 詳しくはお問い合わせ下さい ▶ magusakodomomura@gmail.com

父親学級

家族力がアップする!お産とオッサンの「父親学級」

【継続事業】年2回(6・12月)開催/妊産婦ご夫婦対象



同じ子育て中の親同士でのつながり

「我が家だけの問題ではないと分かり、ほっとした。」事後アンケートでは、毎回このような回答をいただきます。スタッフも講座終了後「なかだの森であそぼう!」にぜひ参加してくださいね。」とお伝えしています。これは、私自身がそうであったように、親同士が知り合う、いまの気持ちを受け止めてくれる居場所が家庭以外にもあることは、安心して子育てすることにつながると信じているからです。より森を身近に感じていただくために、2017年度は「土曜の森」開催日に父親学級を開催します。(父親学級企画・たなか みゆき)

まなざし観劇会

きょちゃんといっしょ 音楽のびっくり箱～音楽はむずかしくな～い!!～

【継続事業】年1回

子育て中の母たちが企画する、ほっとできる観劇会。

「芸術鑑賞」って心を豊かにするものだと感じていても、市内には足を伸ばせなかったり、値段が高かったり、子どもが周りに迷惑を掛けそうで気を遣ってしまったり…ちょっぴりハードルが高いもの。それが、遠くに行かなくても観られる、子どもが泣き出してしまったとしても温かく受け入れてもらえて安心して過ごせる場があれば!そんな想いで、母たちが毎年心を込めて「まなざし観劇会」を企画しています。

2016年度のテーマは「耳を澄ませて!」

今年のまなざし観劇会のテーマは「耳を澄ませて」。まなざし初となるコンサートでした。身体が楽器になったり、有名なロックの曲であそんだり…まるで音で遊んでいるみたい!子どもも大人もワクワク楽しい時間となりました。参加者アンケートでは、「生でピアノ、音、歌を感じられたことに感動しました!」「音楽って楽しい!」を実感できました!との嬉しい声を頂きました。



家庭や地域が居場所となるために…

妊娠・出産前後に大きな変化を迎える夫婦間パートナーシップ。赤ちゃんが産まれて幸せいっぱいのはずが、初めての子育てに妻はイライラ。夫も頑張っているのに原因が解らず困ってしまう…。私自身もそんな経験をしました。そして、今や「子育てで孤独を感じる」母親は約7割とも言われています。(2016年1月30日放映NHK「ママたちが非常事態?!」より)

感じ方、考え方の違いに気がつく。

当団体の会員でもある講師の渡辺大地さん。大地さんの講座には、年間1500組以上のご夫婦が参加!その中でも、まなざしの父親学級では事前に「いま話したいこと」を伺っています。特に、12月の講座では「パートナーシップは子どもに影響する?」をテーマに、同じ子育て中の大人同士のディスカッションはとても盛り上がりました。内省での気づきはもちろん、誰かの話が自分の気づきになる時間を過ごします。参加男性からもう1時間あってもいいという意見もいただき、「もっと話したい!」という熱気に包まれています。



観劇会を通して人の輪を深める。

母たちが観劇会の運営だけでなく、グラス隊を結成して当日生演奏したり、森で過ごす子どもたちの日常を織り込んだオリジナル曲を創るなど「一人でも多くの人と一緒に舞台を創る」という想いを大切にして観劇会を創り上げました。(観劇会企画・あつこ)

同じ目的をもつ個人や他団体との協働事業

「子どもにとって本当に大切なこと」を社会全体で考え続けるために…

子どもが育つ環境づくりに社会全体で取り組むためには、互いの違いを認め合い支え合う関係が必要です。「子どもたちにとって本当に大切なことを第一に考える社会」を実現するために、同じ目的を持つ個人や他団体と協働します。

つながりが広がったことで実現できるアクションがある。

自主上映会「さとにきたらええやん」上映会
水は、あなたの声を聞かせてください！
あなたにとって 居場所とは？
「さと」のような居場所は、全国いたるところ、我がまちに必要なのだ！
上映会と座談会を共に実現した団体
NPO法人ひの市民活動団体連絡会、NPO法人市民サポートセンター日野、ひの社会教育センター（子育てカフェモグモグ）、日野市ボランティア・センター、自立支援ホームトリノス

11月23日（水・祝）
13:00-15:00
日野市民の森ふれあいホール
コミュニティルーム2
日野市民の森ふれあいホール
コミュニティルーム2

広く他団体と協働することで実現した映画「さとにきたらええやん」の自主上映会（※10月16日/市民フェアにて）と、後日イベント「あなたにとって『居場所』とは？」（※11月23日/座談会形式）という一連の取り組みは、当団体の活動内だけに収まらず、子どもや子育て関連団体だけでもない、『居場所』というキーワードでつながることの可能性を実感する機会となりました。

違いを認め合い、支え合う関係づくりを。

これまでつながりを持ってこなかった団体や個人とも、「違いを認め合う関係づくり」をコツコツと続けていくことが、実は共感の輪を広げることにつながり、「子どもにとって本当に大切なことを第一に考える社会」の実現に一つ近づくと実感することができました。

仲田の森蚕糸公園等清掃管理事業

地域の遊び場を自分たちの手で。

団体設立当初より、自分たちの居場所は自分たちの手で整備しようと除草や清掃を自主的に行っていました。その実績が認められ、2013年4月より日野市から業務委託を受け「仲田の森蚕糸公園」の公園清掃等作業を行っています。清掃などの作業を通して、地域の方々の「なかだの森」への想いを伺う大切な機会ともなっています。



◀スタッフのちよこちゃん（中央）、ぼんちゃん（左）、あっちゃん（右）

スタッフの声

地域の声を聴く、思いを巡らす。人とのつながりが森を創る。

私が、仲田の森蚕糸公園の清掃管理に関わり始めて2年目、この仕事を通して、ここ「なかだの森」が昔から地域の人に大切にされてきた場所なのだと改めて感じています。子どもの頃に過ごしたこの森が懐かしくて、遠くに引っ越した先から出かけてきた方。ここは四つ葉のクローバーがあって、残しておいてほしいと教えてくれたKさん。四季折々の実りや味わいを毎年楽しませてもらっているのよ、という方々。昔の桑畑の様子を教えてください、森らしさを残してくれてありがとう「綺麗にしてくれてありがとう」と声を掛けてくださる方…清掃管理を通して会話が生まれ、訪れる地域の方々の森を大切に想う気持ちと共に「なかだの森」は創られていると実感しています。また、清掃管理をしていると、子どもたちの遊んでいた形跡を見つけることがあります。「よくこんな大きなものをここまで運んできたね〜」「こんなところに道具が置いてあるよ」子どもたちがどんなふうにご遊んでいたのか、三人で思いを巡らすこともよくあります。当団体だけではなく、たくさんの方が大切にしている「なかだの森」。これからも、地域の方々の声を聞きながら、皆さんと森を創っていきたくと思います。（公園管理スタッフ あっちゃん）

情報発信事業

一人でも多くの方と共に…

「子どもにとって本当に大切なこと」、あなたと一緒に考え続けたい。



2016年度の主な情報発信

- なかだの森通信 30号～34号
- 小学生版なかだの森通信 7月号、11月号
- メルマガ「今月のまなざし」 vol.15～vol.26
- 「子どもへのまなざし」ウェブサイト
- facebook、ブログで情報発信中！

2016年度の主なメディア掲載実績

- クレヨンハウス「月刊クーヨン」2016.10月号 連載「子どもの居場所・つくるひと」のページで、野外保育「まめのめ」を取り上げていただきました。
- J-wave「WonderVision」2016.12.4放送 リスナーさんからの投稿をきっかけに「なかだの森であそぼう！」を紹介していただきました。

▲2016年度より、会員の皆さまになかだの森通信を3部郵送しています。1部は、会員の皆さまに感謝を込めて。残りの2部は、幼稚園・保育園、友人・知人、ご近所の気になる方へ「こんな活動をしている団体があるよ」とお伝えいただいています。

2016年度の協働事業

- ◆NPO法人ひの市民活動団体連絡会との連携
 - まちづくり市民フェア実行委員会 ・自主映画上映会「さとにきたらええやん」
 - 連絡会主催「助成金獲得セミナー」で当団体のファンドレイジング活動について事例紹介
- ◆日野市との連携
 - ◎子育て課 日野市子ども・子育て支援会議推進協議会委員（理事1名）
 - ◎地域協働課 地域懇談会及び、地域懇談会出席者有志で具体的なアクションプランを考える「アクションプラン検討会」に参加
 - ◎緑と清流課 「旧蚕糸試験場第一倉庫（桑ハウス）保存・活用検討協議会」に参加
 - ◆その他 日野市立仲田小学校学校評議員や一中地区青少年育成会運営会員として、地域の子どもたちを見守る役割を担っています。

地域を考える人と共に…

市民一人ひとりが創り出す「安心できる場」が“ふるさと”につながっていく。

この度は、「事業報告書」に寄稿する機会を頂きありがとうございます。さて、その前に私と子どもへのまなざしとの出会いを少しだけ。出会ったのは、仲田の森蚕糸公園がまだ公園ではなく、自然体験広場という名称で夏休み期間に青少年のキャンプ活動の場として利用していた頃です。その担当をしていたこと、私自身が子どもの頃に浅川に育てられたと聞いていい位に遊んだ経験があること、それらが相まって子どもへのまなざしとは、自然体で話し合える関係になっていきました。今は地域協働課で、地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。地域コミュニティの活性化の目標は「お互い様と言える地域づくり」とも言えます。人間関係が煩わしいと思われる社会であるのに、どうして地域コミュニティの活性化…と思うかもしれません。でも、少し考えてみてください。ベッドタウンの日野市で暮らしている方には、土地感も親類や友達もない中で、一人で子育てしている方が少なくない数いるはず。お金のサービスのみでは、暮らしが成り立たないことを皆理解しているのです。個人対象のサービスだけでは、かえって不安を呼ぶのではないのでしょうか…。そこで、仲田の森が素敵なのは、誰もがお互い様という気持ちで、ありのままの自分を出せる場であるところだと思います。それを創りだしているのは、ここに集う市民一人ひとりなのです。こんな安心できる場が、何らかの縁があって日野市に暮らしている子どもたち、そして子育てをしている人たちにとって“ふるさと”になっていくのではないのでしょうか。これからも、NPO法人子どもへのまなざしの活動に期待しています。

日野市役所地域協働課長 熊澤 修さん

決算報告

活動計算書

2016年4月1日～2017年3月31日

科目		金額(円)
経常収益	受取会費	545,000
	受取寄附金	678,573
	受取助成金等	448,000
	事業収益	88,516
	①子どもが主人公の居場所の設置・運営	13,427,895
	②「親子で育ちあう保育の場」の設置・運営	1,953,530
	③「子ども時代のおそびを保障する場」の設置・運営	186,900
	④子どもがいるからつながる人の輪	122,800
	⑤学習会の開催及び講師派遣	0
	⑥他団体との協働	0
⑦情報発信	0	
⑧仲田の森系公園等清掃管理	1,206,000	
その他収益	3,094	
経常収益計	18,660,308	
経常費用	事業費	1,392,000
	役員報酬	11,892,546
	人件費/法定福利費	181,988
	諸謝金	208,343
	業務委託費	42,511
	印刷製本費	33,607
	会議費	544,026
	旅費交通費	18,372
	通信運搬費	522,582
	消耗品費	21,869
	修繕費	120,052
	水道光熱費	629,831
	地代家賃	400,932
	施設利用料	166,938
	保険料	10,000
	賃借料	33,000
	諸会費	634,200
	租税公課	24,754
	新聞図書費	46,850
	研修費	255,450
	食料費	30,827
	支払手数料	1,818
	雑費	17,212,496
	事業費計	169,434
	管理費	17,381,930
	経常費用計	1,278,378
	当期経常増減額	1,278,378
税引前当期正味財産増減額	70,000	
法人税、住民税及び事業税	1,208,378	
当期正味財産増減額	10,127,375	
前期繰越正味財産額	11,335,753	
次期繰越正味財産額		

人件費・法定福利費

各事業に係る職員や外部スタッフに対する給与・ボランティア謝金です。支出の約7割を占めています。

業務委託費

個人情報管理のためのシステム運用や、野外活動事業の動画撮影を委託しています。

会議費

スタッフ会議時の飲食代です。特に、外部スタッフとの意見交換の機会を大切にしています。

保険料

事業ごとに掛けているスポーツ安全保険の他に、ボランティアスタッフまで幅広くカバーするNPO総合保険に加入しています。

研修費

日本冒険遊び場づくり協会全国集会への参加費と、スタッフの外部セミナー参加費を負担しています。

次期繰越正味財産額

野外保育事業の緊急的な費用にかかる積立金や、次年度以降の自主事業(無料講演会など)のための繰越金も含まれています。

2016年度は…

みなさんの応援を実感した一年でした。

事業の多くは、子どもを対象としたものです。特に「なかだの森であそぼう!」は、誰でも、いつ来て、いつ帰ってもいい場所。参加費はいただけていません。(お昼に仲田鍋を食べる方は、調味料代として50円いただいています。)日野市より補助金として38万5千円いただけていますが、1回の開催には約1万6千円かかります。(※2016年度は66回開催し、約106万円の支出でした。)その開催費用を、会費・寄付金でカバーできたことは、私たちにとって「森開催を応援しているよ」という励ましに聞こえます。私たちの目標は、「なかだの森であそぼう!」を毎日開催すること。その大きな一歩になった2016年度でした。収支は19ページの通りですが、収入が1866万円(前年比94.1%)、支出が1738万円(前年比89.8%)で当期計上増減額では約120万円の黒字でした。特に、野外保育「まめのめ」のスタッフの協力により、人件費を当初予算より82万円抑えることができたのが大きな要因です。

2017年度は…

「伝える」を大切に。子どもを主人公に考える大人をふやすために。

「子どもへのまなざし」を考えるのは大人です。そんな大人が一人でも増えてくれたら、子どもが主人公の社会になるのではないのでしょうか。私たちは、各事業が「子どもへのまなざし」を考えるキッカケになってほしいと活動しています。参加費等をいただく事業も行っていますが、必要以上に収益を上げることが目的ではありません。ひとりでも多くの子どもたちに「子ども時代のおそびを保障する場」を届けたい。その想いは、多くの方のご支援あってこそ実現しているのです。ご支援に対する感謝の気持ちを込めて、応援して下さる方ともしっかりと出会うために、タイムリーな情報をお伝えする「メルマガ」の活用。また、いままで課題だった会員さんへのご案内を定期的に発送するなど、「伝える」を大切にしていきます。また2017年度は初めて職員が産休・育休を取得します。「子どものことを第一に考える社会の実現」を目的としている当団体が、職員の出産・育児を応援することは当然のこと。運用は初めてなので、課題もあると思いますが、スタッフとともに働きやすい環境をつくるための第一歩にしたいです。

事務局長より

みなさんと共に「考え続ける場」を創っていききたい。

ありがたいことに「なかだの森であそぼう!」が多くのの人に知られるようになり、中学生が遊びに来る場となってきました。ご支援くださる皆様には本当に感謝申し上げます。様々な人と出会う機会を得るたびに、本当に必要とする人たちが訪れる場になっているだろうかという想いが、頭の片隅にあります。昨年、身近な場所で、私たちにできることは何だったのだろうか強く思うような悲しい出来事がありました。今も自問自答を繰り返しながら「今の私にできること」を考えています。私たちは、課題を解決するには既に正解があり、それに向かって行動していくと思いがちです。しかし、真の答えは一人ひとりが考え、異なる意見を交換し合うプロセスの中から生み出されていくと実感しています。本当に必要とされているのは、考え続ける場を創ることです。ひとりでも多くの声なき声に耳を傾け、正解のない問いかけを考え続けるために、ご支援して下さるみなさんの声をぜひお聞かせください。そして、私たちといっしょに考え続けてください。私たち市民の声の積み重ねがこれからの子どもたちを創り、社会を創っていきます。



事務局長 藤浪 里佳

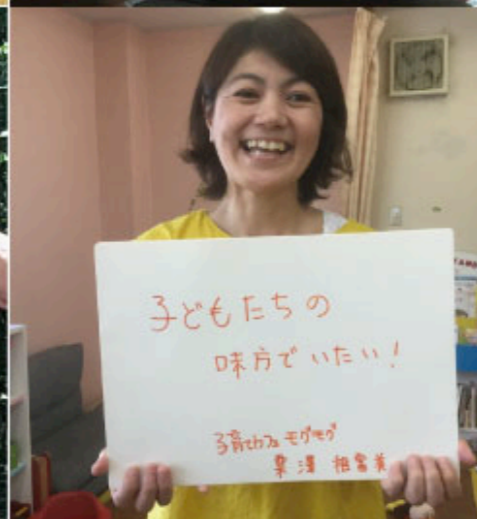
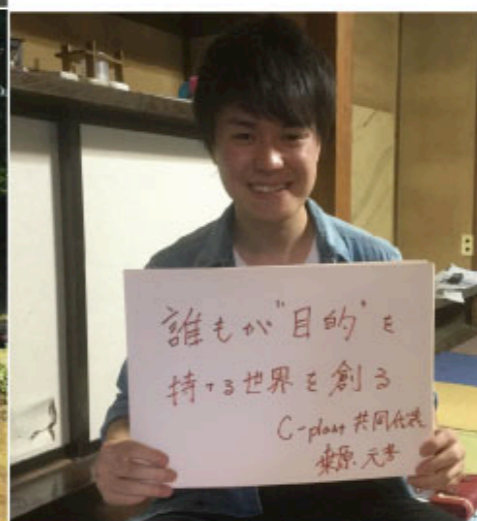
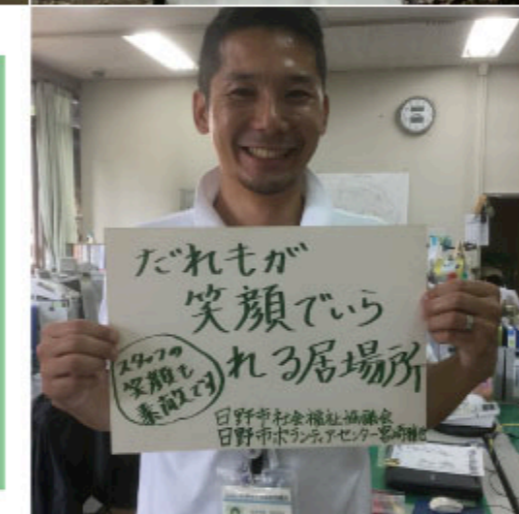
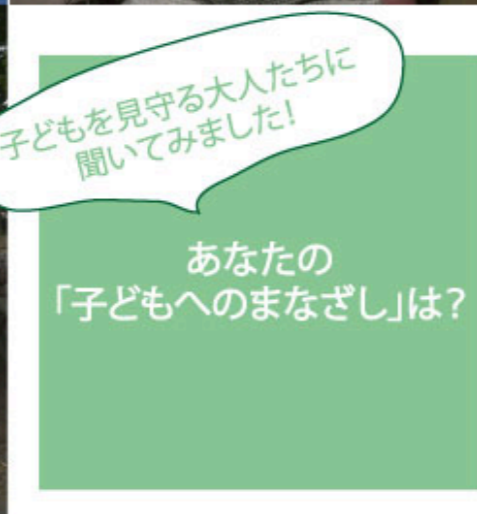
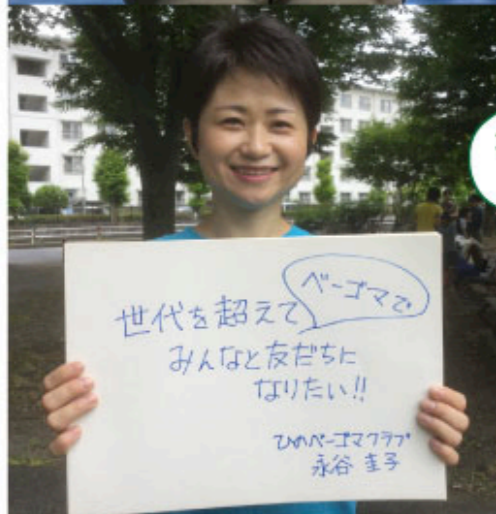
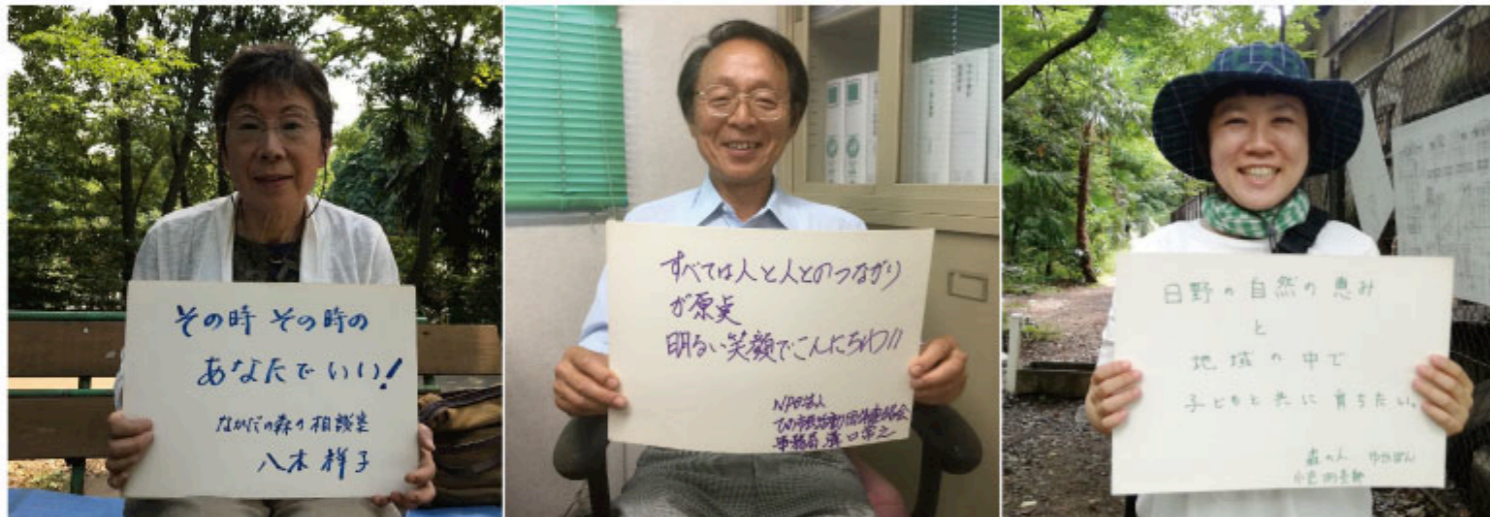
貸借対照表

[税込](単位:円)
2017年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金・預金	11,028,424	未払金・前受金等	2,491,342
未収金	102,400	未払消費税・法人税等	358,200
前払費用	53,270	流動負債計	2,849,542
流動資産合計	11,184,094	負債の部合計	2,849,542
固定資産		正味財産の部	
NPO事業特定資産	664,290	正味財産	
保育事業特定資産	2,336,911	前期繰越正味財産額	10,127,375
固定資産合計	3,001,201	当期正味財産増減額	1,208,378
		正味財産計	11,335,753
		正味財産の部合計	11,335,753
資産の部合計	14,185,295	負債・正味財産の部合計	14,185,295

会計事務ならびにその収支状況について、それぞれ適正に処理されていると認められる旨、報告いたします。

監事 菱山 栄三郎



子どもの未来を共に考える仲間たち

※氏名公開可の方のみ・順不同

■正会員

案浦 聖子さん/菱山 千絵さん/加藤 能子さん/渋谷 真史さん/佐藤 浩子さん/田部井 絵美さん/竹内 知子さん/横山 亜紀子さん
 石田 淳子さん/森田 聡子さん/三上 紗恵子さん/本間 智恵子さん/小俣 実穂さん/近藤 千富さん/小野 絵理さん/田村 美保さん
 浅見 久美子さん/遠藤 美花さん/佐々木 ふみかさん/仙田 恵実さん/岩見 千代子さん/織田 和さん/市村 純子さん/村井 知子さん
 角川 ちひろさん/角山 由生さん/茂木 俊晋さん/浅見 義孝さん/中村 祥子さん/渡邊 さちさん/渡辺 綾子さん/安井 清美さん
 遠藤 美和子さん/伊藤 杏子さん/繁木 京子さん/井戸川 雅子さん/柳澤 桂子さん/有賀 信雄さん/千勝 里美さん/渡辺 大地さん
 藤原 仁美さん/北澤 尚子さん/金谷 有美さん/中島 愛子さん/北田 友美さん/志水 英子さん/久保 結さん/佐々木 美紀さん
 佐々木 隆祥さん/石坂 あや子さん/山本 祥寛さん/伊藤 さおりさん/峯崎 由美子さん

■応援会員

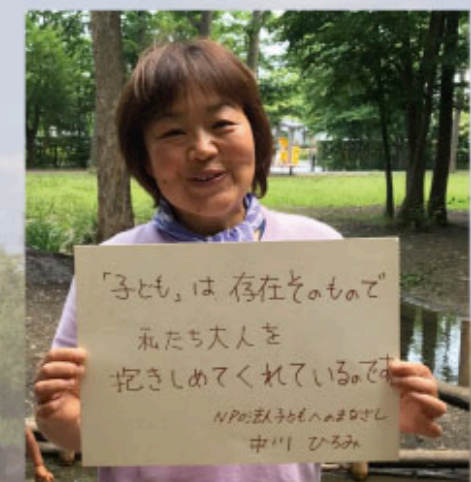
景谷 かおりさん/鈴木 久子さん/久保 七子さん/森田 ちとあさん/藤井 美紀さん/濱 絵美子さん/大村 悠季さん/宇野 由香さん/伊藤 完さん
 清水 由さん/樋口 光男さん/藤原 満さん/深井 典子さん/馬場 明子さん/大森 貴子さん/林 麻子さん/八木 祥子さん/米澤 茂さん/矢崎 優子さん
 佐藤 順子さん/瀧島 崇子さん/早川 ふみさん/番匠 健作さん/小峰 奈津江さん/瀧島 聡さん/風間 正博さん/風間 夢さん/桐山 理華子さん
 阿部 明美さん/宮原 洋一さん/河野 真美さん/前波 奈緒さん/田中 香織さん/谷 和彦さん/加藤 知奈津さん/佐藤 美保さん/若原 千尋さん
 黒井 昭博さん/谷水 浩さん/渡部 恭平さん/楠木 ルルさん/五十嵐 和加子さん/石附 真弓さん/石附 和己さん/笹田 美希さん/小林 じゅん子さん
 高橋 宏美さん/佐野 桂子さん/佐々木 隆志さん/奥村 典夫さん/青山 瑞恵さん/住野 量彦さん/石崎 晶子さん/アルサテロドリグス 麻子さん
 平澤 康子さん/株式会社アイナロハさん/永谷 圭子さん/粟澤 雅富美さん/長澤 香織さん/近藤 真理子さん/柳下 睦美さん/大原 千絵美さん
 近藤 朝子さん/鈴木 雄介さん

■ご寄付

仲町こども会(日野市)様/村井 知子 様/かなざわ助産院 様/(株)イオンリテール様/成田 友万 様/家事・育児さばーとHappy様/原 雅子 様
 北澤 君江 様/栗田 千穂子 様/本田 武典 様/田中 力也 様/内藤 美香 様/木村 佳美子 様/土屋 實 様/藤浪 竜哉 様/柴田 栄 様/株式会社ナイアド様
 白井 一領 様/足立 雅史 様/黒井 昭博 様/明石 結佳 様/鶴谷 美加子 様/足沢 真佐子 様/山城 隆盛 様/吉田 京子 様/里山自主保育とっこ様
 佐々木 隆祥 様/鈴木 久子 様/野外保育まめめ保護者有志 様/丸山 佳代子 様/佐々木 美紀 様/株式会社アイナロハ様/林 麻子 様/濱 絵美子 様
 生活クラブ生協まち日野 様/片岡 久美 様/中村 祥子 様/熊谷 瑞紀 様/荻野 清子 様/Flame様/ひばり子ども会(八王子市)様
 森のおもちつきを応援する会 様/他9名

これからもみなさんと共に

支援者でも、ましてや先生でもない。
 いわゆる専門家としてではなく、ひとりの大人として地域の子どもの
 育ちに関わり続ける…
 「続ける」ことは、決して楽しい事ばかりではない。
 悩んで落ち込むことも、悲しくて泣き出したい気持ちの時も…。
 でも、振り返ればいつも一緒に悩んだり、怒ったり、そして喜びを分
 ちあえる仲間がいた。そして、いつも子どもや子育て真っ最中のお
 母さんたちから学ばせてもらってきた。
 いつしか私にとっても『居場所』になっていたのだと気付かされる。
 「子育ては決してひとりではできない!」
 みなさんと共に、これまでも。そして、これからも!!
 NPO法人子どもへのまなざし代表 中川ひろみ



<役員紹介>

代表 中川ひろみ / 事務局長 兼 理事 藤浪里佳 / 理事 中野錦亨 / 理事 松永由希子 / 理事 小俣彰男
 / 理事 田中博之 / 理事 塚本幸治 / 監事 菱山栄三郎

♥SPECIAL THANKS

本年年報の作成においては、応援会員のたかはしひろみちゃんにイラストを、正会員の小俣実穂ちゃんに文章
 校正をお願いいたしました。ご協力、ありがとうございました!